

鎌倉街道上道を歩く 第7回

＜相鉄線ゆめが丘～JR 藤沢＞

距離約 11km

1. 日時 2015年9月17日(木)
雨天の場合は 10月1日(木)
2. 集合場所 所沢駅 階段下池袋線ホーム
3. 出発時間 8時22分発 中華街行きに乗車(8:15集合)
4. 昼食 13:00頃 ドルチェ・ビータ
5. 帰着予定時間: 所沢駅 19:00頃

ランチ：
1800円
往復交通費：
約2600円



コースガイド

今回は新田軍が鎌倉攻めのために集結した藤沢の遊行寺まで行きます。

- ① **下飯田左馬(さば)神社**：下飯田村の村社に指定された神社ですが、以前は「鯖神社」と表記しています。前回の飯田神社と同様「七サバ参り」の神社の一つです。



鯖神社は飯田五郎家義^{*}の勧請により創建したとも、小田原北条時代に当地を治めた川上藤兵衛が創建したともいいます。

横浜市の名木・古木に指定された**イチョウ**がある。

※飯田五郎家義：平安末期にこの地を治めており、治承4年(1180)の石橋山の戦に敗れた源頼朝を助け、同10月の富士川合戦では戦功を挙げたことなどから、飯田郷の地頭に任ぜられたと伝えられます。

- ② **飯田五郎館跡**：富士塚公園の一隅に、「**富士塚城址**」の碑がある。これは飯田五郎の居城があったという伝承に基づいて、建てられたものであるが、館跡を城址と言うのはいかがなものか。

- ③ **東泉寺**：**巨木**(こぼく)山という山号にふさわしく、山門前に樹齢410年幹周り4.8mのイチョウが聳え立っている。創建年代は不明、再三の境川の氾濫によりここに移されたもの。



元の土地は、境川近くの寺分という呼称で一部が残っている。

当地を知行した旗本の笈助兵衛がこの寺を再興したと思われる。弘法大師が祀られている「相模国準四国八十八ヶ所」の一つとなっている薬師堂も同時期に移転している。

東泉寺の左奥には**琴平神社**がある。この地に東泉寺が移転し

た天正 18 年（1590）頃に、寺の鎮守として水難守護治水の神である金毘羅神を祀って建立されたと伝えられる。

境内にある庚申塔、馬頭観音ともに「この方、かまくら道」と刻まれている。元は街道沿いにあったものだ。

- ④ **天王森泉館**: この建物は、明治 44 年清水製糸工場の本館として建設されたものです。ここで、休憩です。



- ⑤ **集められた庚申塔**: 俣野町の三叉路の角に 3 基の庚申塔とその台座部分にコンクリートで塗り込められた庚申塔があります。撤去された物が集められたのでしょうか。



- ⑥ **俣野神社**: 石橋山合戦で源頼朝と戦った平家側の総大将大庭影親の弟俣野五郎景久宅の跡があるという。この神社のイロハモミジは見事ですが、下見の時にはもうありませんでした。（写真は 10 年前の物）



余談：俣野景久は相撲の名手といわれていました。その俣野の 22 連勝を阻んだのが河津祐泰、その時の技をのちに河津掛け（かわづがけ）というようになったといえます。

- ⑦ **俣野観音堂**: 富士川の戦いに敗れた俣野五郎景久は北陸で平維盛軍に合流したが、俱利伽羅峠の戦いで木曾義仲と戦い討死した。観音堂は、最後の時に家臣に託し故郷の相模国俣野村に送った守護仏であった観音像を祀ったとされます。（今回は割愛）

- ⑧ **龍長院**: 室町時代、真言宗の寺として龍長庵を創立、慶安元年（1648）に永井丹波守白元が当地の領主になった時に堂宇を改築し、宗派も曹洞宗に改宗し龍長院に改めた。寺の地蔵堂には、

侯野五郎景久の石像が安置されているとい
います。境内の左手には滝もあり、またイチ
ョウの巨木もある。

なお、入り口には鎌倉街道の説明板がある
が今回はこの大船から巨福呂（こぶくろ）坂
へ行くルートはとらない。



- ⑨ **八坂神社**:創建は八代将軍吉宗の治世
であった享保18年（1733）の創建。
鳥居の前は四つ角になっており、ツゲ
の大木の下に、数基の庚申塔などがあ
る。そのひとつは延宝8年（1680）の銘がある庚申塔で、他
にも道標を兼ねた「右 かまくら道」「左 八をうじ道」と刻ま
れた庚申塔があり、「鎌倉街道西の道」と書かれた上ッ道の説
明板がある。なお、左手の道も大船、北鎌倉を通過して巨福呂坂
から鎌倉へ行く鎌倉街道である。



- ⑩ **ランチ ドルチェ・ビータ**:ネットで見ると評判の良いちいさなレ
ストラン(イタリアン)です。当日は貸し切りになります、料理
は1800円（税込み）でお任せでお願いしています。

- ⑪ **国道1号線手前の石塔群**:鎌倉街道
は国道1号線（東海道）にぶつかる。その手前に庚申塔、地神塔な
どの石塔がある。ここから先、鎌
倉街道は姿を消してしまいます。



東海道を下って鉄砲宿から東に入り影取を
通り柄沢神社へ行きます。柄沢神社西側の道
が鎌倉街道です。ところが、10年前にあった
道はすっかり舗装されて、柄沢神社もすっか
り新しくなっていました。

10年前の柄沢神社



むかし、あるお金持ちの家で、大蛇が飼われていた。あまりに大食いなので、近くの池に捨てたところ、池に映る旅人の影を飲みこむようになった。そして影を取られた人は数日のうちに命を落とすという噂が広まり、鉄砲の名人が大蛇を撃ち殺した。大蛇が鉄砲で撃たれたあたりが「鉄砲宿」になったという。そして大蛇がいた影取池は「影取」という地名として残っている。

鎌倉攻めの新田軍は遊行寺に集結し、そこから鎌倉に向かいました。柄沢神社から鎌倉街道を離れて遊行寺に行きます。

⑫ **遊行寺**:時宗の総本山で藤澤山無量光院清浄光寺というのが正式な名前ですが、遊行寺の方が知られています。

遊行寺は、俣野町、東俣野町、西俣野の領主だった俣野氏の一族である俣野五郎景平(前述の五郎景久の末裔)が開基です。時宗は一遍上人が開いたものですが、遊行寺は景平の弟であった遊行第四代吞海上人が正中2年(1325)に廃寺極楽寺を清浄光院として再興したのが開山と言われます。



遊行とは僧などが布教や修行のために諸国を巡り歩くこと。

時宗の指導者は遊行上人と呼ばれ、回国巡行を続けたが、晩年に遊行を続けることが困難になると、清浄光寺に引退した。寺に住むようになった上人は藤沢上人と呼ばれたが、鎌倉時代末以降、藤沢上人が没すると回國中の遊行上人はその地位を後継者に譲って藤沢上人をつぐのが慣例となった。この事から、遊行寺と呼ばれている。



・ **敵御方供養塔**：応永 23 年(1416)に、上杉氏憲(禅秀)が足利持氏に対して反乱(禅秀の乱)を起こした。この乱によって両方に死傷者が多く出たので、僧と近在の人々と共に敵味方両軍の傷ついた人たちを收容して治療を行うとともに、戦没者を葬り敵味方の区別なく平等に供養し、その霊を弔いました。



・ **酒井忠重逆修^{*}六地蔵・五輪の塔**

六地蔵は萬治 3 年(1660)に酒井長門守忠重が施主となって、遊行 39 代慈光上人の代に建立されました。施主の酒井長門守忠重は出羽鶴岡城主酒井忠勝の弟



で逆修のために建立されたとされます。

五輪塔には、「寛文六(1666)丙午歳 光岳院殿従五位 前長州太守 鏡譽宗円大居士 酒井長門守忠重 九月十八日」と記されています。遊行 39 代慈光上人は羽州最上の出身であることから、忠重との関係は深いものがあったのではないのでしょうか。

※逆修：生前に、自分の死後の冥福(めいふく)のために仏事をする事。あるいは年老いた者が、年若くして死んだ者の冥福を祈ること。

・**小栗判官・照手姫の墓**：長生院は浄瑠璃で名高い小栗判官・照手(てるて)姫ゆかりのお寺です。常陸小栗城が足利持氏に攻められて落城し、城主の子判官助重が、家臣と逃げのびる途中この藤沢で毒殺されかけた。このとき妓女 照手が助重らを逃がし、一行は遊行上人に助けられました。その後、助重は家名を再興し、照手を妻に迎えました。助重の死後、照手は髪を落とし長生尼と名のり、助重と家臣 11 人の墓を守り、余生を長生院で過ごしたとされています



・**俣野大権現**：所沢市久米の長久寺が寄進・建立した。地藏堂の前にある。

・**遊行寺の大イチョウ**：樹齢 500 年(一説に 700 年)といわれ、藤沢市の天然記念物に指定されています。昭和 57 年の台風により、約 3 分の 1 が折れてしまいましたが、現在は見事に繁茂しています。幹周り 7m 強。



・**板割浅太郎の墓**：国定忠治でおなじみの板割浅太郎、遊行寺の黒門をくぐり、すぐ左手の墓地の突当りに「貞松院住職列成和尚」の墓があり、その横に「板割浅太郎の墓の由来」という案内板がある。

・惣門：大きな黒の冠木門が遊行寺の惣門で、今日では遊行寺の黒門と呼ばれています。それから続く石段は、阿弥陀様の四十八願にたとえて、四十八段となっています。



・隅切三(すみきりさん)



時宗の宗紋は、「折敷に三文字紋」、「隅切三 (すみきりさん)」です。これは一遍上人が出られた伊予の河野氏の家紋から採られました。稲葉家の出自も河野氏で家紋は、時宗の宗紋と同じなのです。春日の局の嫁ぎ先は稲葉家なので、麟祥院の春日の局の墓にもこの紋が使われていました。

⑬ 旧東海道：遊行寺の惣門を出た所は旧東海道です。藤沢は品川、川崎、神奈川、程ヶ谷、戸塚に次ぐ東海道の6番目の宿場です。



宿場は藤沢駅の方ではなくて、遊行寺橋を渡って右手の方向が宿場の中心です。

帰路 藤沢駅から所沢へ：目標電車

16:53 湘南新宿ラインで池袋…18:02 準急小手指行き 所沢 18:32

~~~~~  
次回は、10月22日 JR 藤沢駅からいよいよ鎌倉に入ります。

翌日は新田義貞の鎌倉攻めの突破口となった稲村ヶ崎、極楽寺坂を通ります。また、鎌倉七口の一つ大仏切通しを見て見ましょう。